

治山林道事業留意事項（平成 29 年 4 月版）正誤表

(正)

共通-1-12

種子配合一覧表(種子吹付工)

春 期			秋 期		
高地 標高700m以上 (g/m)			高地 標高700m以上 (g/m)		
種子名	A		種子名	A	
草 トールフェスク	500		草 トールフェスク	500	
草 クリベシクレットフェスク	900		草 クリベシクレットフェスク	900	
草 パシューダグラス	900		草 パシューダグラス	900	
木 メドハギ	500		木 メドハギ	500	
木 ヨモギ	100		木 ヨモギ	100	
木 イタドリ	30		木 イタドリ	30	
木 ヤマハギ(皮取)	70		木 ヤマハギ(皮取)	30	
木 ヤマハギ(皮付)	0		木 ヤマハギ(皮付)	40	
合計	3000		合計	3000	

  

低地 標高700m未満 (g/m)			低地 標高700m未満 (g/m)		
種子名	A		種子名	A	
草 トールフェスク	900		草 トールフェスク	900	
草 クリベシクレットフェスク	500		草 クリベシクレットフェスク	500	
草 パシューダグラス	900		草 パシューダグラス	900	
木 メドハギ	530		木 メドハギ	530	
木 ヨモギ	100		木 ヨモギ	100	
木 イタドリ	0		木 イタドリ	0	
木 ヤマハギ(皮取)	70		木 ヤマハギ(皮取)	30	
木 ヤマハギ(皮付)	0		木 ヤマハギ(皮付)	40	
合計	3000		合計	3000	

【計算式】

$$W = \frac{A}{B \times C \times D \times E \times F \times G}$$

W: 1㎡当たりの播種量(g)  
 A: 1㎡当たりの発生期待本数  
 B: 吹付厚に対する補正率  
 C: 立地条件に対する補正率  
 D: 施工時期の補正率  
 E: 使用種子の発芽率(%)  
 F: 使用種子の単位粒数(粒/g)  
 G: 使用種子の純度(%)

材料承認欄に記載

- A: 発生期待本数(本/㎡)  
 発生期待本数は、播種後1年位の間に地表上に芽を出す個体の総数を指す。被圧等による枯損する数も含む値である。
- B: 吹付厚に対する補正率  
 種子が発芽可能な深さ(覆土厚さ)を確認して補正率を決める。(別途表参照)  
 種子吹付工の補正率は、1.0とする。
- C: 立地条件に対する補正率  
 1. 法面勾配 50度以上 : 0.9 50度未満 : 1.0  
 2. 土質 硬岩 : 0.9 その他 : 1.0  
 3. 法面方位 概ね南面 : 0.8 その他 : 1.0  
 4. 乾燥地 年間降水量1,000mm未満 : 0.7 1,000mm以上 : 1.0  
 立地条件の項目が重複した場合は小さい値の補正率を使用する。
- D: 施工時期による補正率
- | 施工時期    | 草本種 | 木本種 |
|---------|-----|-----|
| 3～6月    | 1.0 | 1.0 |
| 7～8月    | 0.8 | 0.7 |
| 9月      | 1.0 | 0.5 |
| 10月～11月 | 0.7 | 0.5 |
| 12月～2月  | 0.9 | 0.8 |

(誤)

共通-1-12

4. 種子配合一覧表(種子吹付工)

春 期			秋 期		
高地 標高700m以上 0㎡当たり			高地 標高700m以上 0㎡当たり		
種子名	A		種子名	A	
草 トールフェスク	500		草 トールフェスク	500	
草 クリベシクレットフェスク	900		草 クリベシクレットフェスク	900	
草 パシューダグラス	900		草 パシューダグラス	900	
木 メドハギ	480		木 メドハギ	480	
木 ヨモギ	100		木 ヨモギ	100	
木 ススキ	20		木 ススキ	20	
木 イタドリ	30		木 イタドリ	30	
木 ヤマハギ(皮取)	50		木 ヤマハギ(皮取)	20	
木 ヤマハギ(皮付)	0		木 ヤマハギ(皮付)	30	
木 ヤマハギ	20		木 ヤマハギ	20	
合計	3,000		合計	3,000	

  

低地 標高700m未満 0㎡当たり			低地 標高700m未満 0㎡当たり		
種子名	A		種子名	A	
草 トールフェスク	900		草 トールフェスク	900	
草 クリベシクレットフェスク	500		草 クリベシクレットフェスク	500	
草 パシューダグラス	900		草 パシューダグラス	900	
木 メドハギ	480		木 メドハギ	480	
木 ヨモギ	100		木 ヨモギ	100	
木 ススキ	50		木 ススキ	50	
木 イタドリ	0		木 イタドリ	0	
木 ヤマハギ(皮取)	50		木 ヤマハギ(皮取)	20	
木 ヤマハギ(皮付)	0		木 ヤマハギ(皮付)	30	
木 ヤマハギ	20		木 ヤマハギ	20	
合計	3,000		合計	3,000	

【計算式】

$$W = \frac{A}{B \times C \times D \times E \times F \times G}$$

W: 1㎡当たりの播種量(g)  
 A: 1㎡当たりの発生期待本数  
 B: 吹付厚に対する補正率  
 C: 立地条件に対する補正率  
 D: 施工時期の補正率  
 E: 使用種子の発芽率(%)  
 F: 使用種子の単位粒数(粒/g)  
 G: 使用種子の純度(%)

材料承認欄に記載

- A: 発生期待本数(本/㎡)  
 発生期待本数は、播種後1年位の間に地表上に芽を出す個体の総数を指す。被圧等による枯損する数も含む値である。
- B: 吹付厚に対する補正率  
 種子が発芽可能な深さ(覆土厚さ)を確認して補正率を決める。(別途表参照)  
 種子吹付工の補正率は、1.0とする。
- C: 立地条件に対する補正率  
 1. 法面勾配 50度以上 : 0.9 50度未満 : 1.0  
 2. 土質 硬岩 : 0.9 その他 : 1.0  
 3. 法面方位 南面で硬岩 : 0.8 その他 : 1.0  
 4. 乾燥地 年間降水量1,000mm未満 : 0.7 1,000mm以上 : 1.0  
 立地条件の項目が重複した場合は小さい値の補正率を使用する。
- D: 施工時期による補正率
- | 施工時期   | 草本種 | 木本種 |
|--------|-----|-----|
| 3～6月   | 1.0 | 1.0 |
| 7～8月   | 0.8 | 0.7 |
| 9月     | 1.0 | 0.5 |
| 10～11月 | 0.7 | 0.5 |
| 12～2月  | 0.9 | 0.8 |

治山林道事業留意事項（平成 29 年 4 月版）正誤表

共通-1-13

**種子配合一覧表(植生基材吹付工)**

**春 期**

高地 標高700m以上 (g/m)

種子名	A
草 トールフェスク	330
クリーピングトールフェスク	600
パシューダグラス	600
木 メドハギ	335
類 ヨモギ	70
イタドリ	20
類本木 ヤマハギ(皮取)	45
類本木 ヤマハギ(皮付)	0
合計	2,000

低地 標高700m未満 (g/m)

種子名	A
草 トールフェスク	600
クリーピングトールフェスク	330
パシューダグラス	600
木 メドハギ	350
類 ヨモギ	70
イタドリ	0
類本木 ヤマハギ(皮取)	50
類本木 ヤマハギ(皮付)	0
合計	2,000

**秋 期**

高地 標高700m以上 (g/m)

種子名	A
草 トールフェスク	330
クリーピングトールフェスク	600
パシューダグラス	600
木 メドハギ	335
類 ヨモギ	70
イタドリ	20
類本木 ヤマハギ(皮取)	15
類本木 ヤマハギ(皮付)	30
合計	2,000

低地 標高700m未満 (g/m)

種子名	A
草 トールフェスク	600
クリーピングトールフェスク	330
パシューダグラス	600
木 メドハギ	350
類 ヨモギ	70
イタドリ	0
類本木 ヤマハギ(皮取)	20
類本木 ヤマハギ(皮付)	30
合計	2,000

**【計算式】**

$$W = \frac{A}{B \times C \times D \times E \times F \times G}$$

W: 1㎡当たりの播種量(g)  
 A: 1㎡当たりの発生期待本数  
 B: 吹付厚に対する補正率  
 C: 立地条件に対する補正率  
 D: 施工時期の補正率  
 E: 使用種子の発芽率(%)  
 F: 使用種子の単位粒数(粒/g)  
 G: 使用種子の純度(%)

A: 発生期待本数(本/㎡)  
 発生期待本数は、播種後1年位の間に地表上に芽を出す個体の総数を指す。被圧等による枯損する数も含む値である。  
 B: 吹付厚さに対する補正率  
 種子が発芽可能な深さ(覆土厚さ)を確認して補正率を決める。(別途表参照)  
 C: 立地条件に対する補正率  
 1. 法面勾配 50度以上 : 0.9 50度未満 : 1.0  
 2. 土質 硬岩 : 0.9 その他 : 1.0  
 3. 法面方位 概ね南面 : 0.8 その他 : 1.0  
 4. 乾燥地 年間降水量1,000mm未満 : 0.7 1,000mm以上 : 1.0  
 立地条件の項目が重複した場合は小さい値の補正率を使用する。  
 D: 施工時期による補正率

施工時期	草本類	木本類
3~6月	1.0	1.0
7~8月	0.8	0.7
9月	1.0	0.5
10月~11月	0.7	0.5
12月~2月	0.9	0.8

材料承認額に記載

共通-1-13

**5. 種子配合一覧表(植生基材吹付工)**

**春 期**

高地 標高700m以上 0㎡当たり

種子名	A
草 トールフェスク	330
クリーピングトールフェスク	600
パシューダグラス	600
木 メドハギ	320
類 ヨモギ	70
ススキ	15
イタドリ	20
ヤマハギ(皮取)	30
ヤマハギ(皮付)	0
ヤシヤブシ	15
合計	2,000

低地 標高700m未満 0㎡当たり

種子名	A
草 トールフェスク	600
クリーピングトールフェスク	330
パシューダグラス	600
木 メドハギ	320
類 ヨモギ	70
ススキ	30
イタドリ	0
ヤマハギ(皮取)	36
ヤマハギ(皮付)	0
ヤシヤブシ	15
合計	2,000

**秋 期**

高地 標高700m以上 0㎡当たり

種子名	A
草 トールフェスク	330
クリーピングトールフェスク	600
パシューダグラス	600
木 メドハギ	320
類 ヨモギ	70
ススキ	15
イタドリ	20
ヤマハギ(皮取)	10
ヤマハギ(皮付)	20
ヤシヤブシ	15
合計	2,000

低地 標高700m未満 0㎡当たり

種子名	A
草 トールフェスク	600
クリーピングトールフェスク	330
パシューダグラス	600
木 メドハギ	320
類 ヨモギ	70
ススキ	30
イタドリ	0
ヤマハギ(皮取)	15
ヤマハギ(皮付)	20
ヤシヤブシ	15
合計	2,000

**【計算式】**

$$W = \frac{A}{B \times C \times D \times E \times F \times G}$$

W: 1㎡当たりの播種量(g)  
 A: 1㎡当たりの発生期待本数  
 B: 吹付厚に対する補正率  
 C: 立地条件に対する補正率  
 D: 施工時期の補正率  
 E: 使用種子の発芽率(%)  
 F: 使用種子の単位粒数(粒/g)  
 G: 使用種子の純度(%)

A: 発生期待本数(本/㎡)  
 発生期待本数は、播種後1年位の間に地表上に芽を出す個体の総数を指す。被圧等による枯損する数も含む値である。  
 B: 吹付厚さに対する補正率  
 種子が発芽可能な深さ(覆土厚さ)を確認して補正率を決める。(別途表参照)  
 C: 立地条件に対する補正率  
 1. 法面勾配 50度以上 : 0.9 50度未満 : 1.0  
 2. 土質 硬岩 : 0.9 その他 : 1.0  
 3. 法面方位 南面で硬岩 : 0.8 その他 : 1.0  
 4. 乾燥地 年間降水量1,000mm未満 : 0.7 1,000mm以上 : 1.0  
 立地条件の項目が重複した場合は小さい値の補正率を使用する。  
 D: 施工時期による補正率

施工時期	草本類	木本類
3~6月	1.0	1.0
7~8月	0.8	0.7
9月	1.0	0.5
10~11月	0.7	0.5
12~2月	0.9	0.8

材料承認額に記載

治山林道事業留意事項（平成 29 年 4 月版）正誤表

治山-7-6

~~10 機構調査解析について~~

~~計画策定を目的としない調査の場合は、総合解析を計上する。また、安定解析については、観測結果により必要に応じて計上する。【削除】~~

治山-7-6

10 機構調査解析について

計画策定を目的としない調査の場合は、総合解析を計上する。また、安定解析については、観測結果により必要に応じて計上する。